

臨床検査学教育

JAPANESE JOURNAL OF MEDICAL TECHNOLOGY EDUCATION

第15回 日本臨床検査学教育学会学術大会 抄録集

- 会 期 令和3年8月18日(水)・19日(木)
- 会 場 Web開催
- テ ー マ 臨床検査技師教育の新たな取り組みに向けて
- 大 会 長 秋山 秀彦 (藤田医科大学)
- 副 大会長 茅野 秀一 (埼玉医科大学)
- 実行委員長 市野 直浩 (藤田医科大学)
- 担 当 校 藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科・臨床検査学科





第15回日本臨床検査学教育学会学術大会 開催にあたり

第15回日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長 秋山 秀彦 (藤田医科大学 医療科学部 臨床検査学科)

この度、第15回日本臨床検査学教育学会学術大会を令和3年8月18日・19日の2日間、藤田医科大学が担当校として、Web開催する運びとなりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度の開催は中止となり、延期での開催となります。

学会のテーマは、「臨床検査技師教育の新たな取り組みに向けて」です。このテーマは新型コロナウイルスがまだ世のなかで報じられる前に決めたものですが、遠隔講義など新たな取り組みをせざるをえなくなりました。このような感染拡大は誰もが予測できなかったことと思います。

大会初日は、医療改革が進むなか、日本臨床衛生検査技師会会長 宮島喜文先生には「医師の業務のタスクシフトと臨床検査技師」、日本臨床検査学教育協議会理事長 坂本秀生先生には「臨床検査技師卒前教育の改正と臨地実習の在り方について」というテーマで、それぞれご講演いただきます。ともに、待ったなしの改革が進んでおり、臨床検査技師教育制度が見直されます。

また、教育シンポジウムとして、コロナ禍での授業、演習など、今後のポストコロナを見据え、先生方の取り組みをご紹介します。

大会2日目は、前大会から好評を得ているPBLのススメ 一入門編と応用編一、今後必ず直面することになる人工知能、検査システムのロボット化など、最先端の話題提供をしていただきます。最後に、2022年より単位化される臨地実習前の技能修得達成度評価の取り組みについて、各養成校からの現状と課題、受け入れ側の病院・検査部からもご講演いただきます。

おわりに、愛知・名古屋の夏は大変に蒸し暑く、開催を心配しておりましたが、Web開催となり、先生方にとってよりよい環境で学会にご参加いただけることは唯一よかったことと安堵しております。藤田学園は開学50周年を過ぎ、病院群の改築も終わり、この大学校地に来ていただき、先生方との親交を深める機会がないことは大変に残念ですが、臨床検査技師教育の将来に向けての新たな取り組みについて議論し、大いに盛り上がりいただくことを期待しております。先生方の多数のご参加、心よりお待ち申し上げます。

日本臨床検査学教育学会学術大会
年次別開催一覧

回数	会 期	大会長(所属)	会 場
1	平成18年 8月23日～25日	三村 邦裕 (千葉科学大学)	東京医科歯科大学
2	平成19年 8月27日～29日	加藤 亮二 (香川県立保健医療大学)	香川県県民ホール
3	平成20年 8月20日～22日	大澤 進 (九州大学)	九州大学医学部 百年講堂
4	平成21年 8月19日～21日	佐藤 健次 (東京医科歯科大学)	東京医科歯科大学
5	平成22年 8月18日～20日	木田 和幸 (弘前大学)	弘前大学大学院保健研究科
6	平成23年 8月17日～19日	渡邊 正友 (新潟医療技術専門学院)	新潟大学医学部保健学科
7	平成24年 8月22日～24日	寺平 良治 (藤田保健衛生大学)	名古屋国際会議場
8	平成25年 8月26日～28日	岩谷 良則 (大阪大学)	大阪大学 コンベンションセンター
9	平成26年 8月20日～22日	山藤 賢 (昭和医療技術専門学校)	東京都大田区産業プラザ
10	平成27年 8月19日～21日	奥村 伸生 (信州大学)	信州大学医学部 地域保健推進センター
11	平成28年 8月31日～9月2日	坂本 秀生 (神戸常盤大学)	神戸常盤大学 神戸国際展示場
12	平成29年 8月23日～25日	松下 誠 (埼玉県立大学)	埼玉県立大学
13	平成30年 8月17日～19日	山口 博之 (北海道大学)	北海道大学 学術交流会館
14	令和元年 8月21日～23日	古閑 公治 (熊本保健科学大学)	熊本保健科学大学
15	令和3年 8月18日・19日	秋山 秀彦 (藤田医科大学)	Web 開催

第15回日本臨床検査学教育学会学術大会

- 日 程 2021年(令和3年)8月18日(水)・19日(木)
- 会 場 Web開催
- 担当校 藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科・臨床検査学科
-
- 大会長 秋山 秀彦(藤田医科大学)
- 副大会長 茅野 秀一(埼玉医科大学)
- 実行委員長 市野 直浩(藤田医科大学)
-
- 学会テーマ 臨床検査技師教育の新たな取り組みに向けて
-
- 主 催 一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
- 後 援 厚生労働省
文部科学省
公益社団法人 愛知県臨床検査技師会
学校法人 藤田学園 藤田医科大学
- 事務局 藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科・臨床検査学科内
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98

1日目 8月18日(水)

WEB会場		オンデマンド配信
9:00	9:30~11:30 理 事 会	一 般 演 題 発 表 配信期間 8月18日(水) } 8月26日(木)
10:00		
11:00		
12:00	11:40~12:40 評議委員会	
13:00	13:00~13:20 開 会 式	
14:00	13:30~14:30 特別講演 1 医師の業務のタスクシフトと臨床検査技師 演者：宮島 喜文（日本臨床衛生検査技師会 会長）	
15:00	14:40~15:40 特別講演 2 臨床検査技師卒前教育の改正と臨地実習の在り方について 演者：坂本 秀生（日本臨床検査学教育協議会 理事長、神戸常盤大学）	
16:00	16:00~17:30 教育シンポジウム 臨床検査技師教育の新たな取り組みに向けて —コロナ禍の講義・演習— 演者：溝越 祐志（神戸常盤大学） 米本 倉基（藤田医科大学）	
17:00	17:50~18:50 科目別分科会 1) 一般検査学 2) 生体検査学 3) 臨床化学 4) 病理組織細胞学 5) 臨床血液学 6) 微生物学 7) 臨床免疫学 8) 輸血学 9) 遺伝子検査学 10) 公衆衛生学 11) 情報科学・統計学 12) 基礎医学(解剖学) 13) 臨床医学・臨床検査医学	
18:00		
19:00		

2日目 8月19日(木)

WEB会場		オンデマンド配信
9:00		一般演題発表 配信期間 8月18日(水) } 8月26日(木)
9:30~10:30	教育講演 1 PBL のススメ ー入門編と応用編ー 演者：大槻 真嗣（藤田医科大学 医学部 臨床総合医学） 小林 茂樹（藤田医科大学 医療科学部 放射線学科）	
10:00		
10:45~11:45	教育講演 2 人工知能の基礎と臨床検査学領域への応用 演者：寺本 篤司（藤田医科大学 医療科学部 放射線学科）	
11:00		
12:00	12:00~13:00 ランチョンセミナー 次世代臨床検査システムの構築 ～人とロボット・AIの共生～ 演者：伊藤 弘康（藤田医科大学 医学部 臨床検査科） 協賛：株式会社 日立ハイテク	
12:00		
13:00		
13:30~14:30	特別講演 3 臨床検査技師の未来のために 演者：安田 守（京都府 向日市 市長）	
14:00		
14:45~17:00	教員・学生合同研修会 臨地実習前の技能習得達成度評価の取り組みについて (実施に向けての問題点・改善点) 演者：水上 紀美江（湘央医学技術専門学校） 永田 和美（熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科） 今村 誠司（藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科） 岡田 元（公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 副会長・ JA 愛知厚生連 安城更生病院 臨床検査室 室長）	
15:00		
16:00	17:15~17:30 クロージング・トーク 大会長：秋山 秀彦（藤田医科大学）	
17:00		
17:40~18:20	閉会式	
18:00		

8月18日 ㊐

9:30～11:30 **理事会**

11:40～12:40 **評議委員会**

13:00～13:20 **開会式**

理事長 開会の挨拶
大会長 挨拶

13:30～14:30 **特別講演 1**

司会：坂本 秀生（日本臨床検査学教育協議会 理事長、神戸常盤大学）

医師の業務のタスクシフトと臨床検査技師

宮島 喜文（日本臨床衛生検査技師会 会長）

14:40～15:40 **特別講演 2**

司会：松下 誠（埼玉県立大学）

臨床検査技師卒前教育の改正と臨地実習の在り方について

坂本 秀生（日本臨床検査学教育協議会 理事長、神戸常盤大学）

16:00～17:30 **教育シンポジウム**

司会：畑本 大介（静岡医療科学専門学校）

臨床検査技師教育の新たな取り組みに向けて —コロナ禍の講義・演習—

1) コロナ禍におけるオンデマンドによる遠隔授業の取り組みと評価

溝越 祐志（神戸常盤大学）

2) オンラインによるコミュニケーション演習

米本 倉基（藤田医科大学）

17:50～18:50 **科目別分科会**

- | | | | |
|---------------|-----------|-----------------|------------|
| 1) 一般検査学 | 2) 生体検査学 | 3) 臨床化学 | 4) 病理組織細胞学 |
| 5) 臨床血液学 | 6) 微生物学 | 7) 臨床免疫学 | 8) 輸血学 |
| 9) 遺伝子検査学 | 10) 公衆衛生学 | 11) 情報科学・統計学 | |
| 12) 基礎医学（解剖学） | | 13) 臨床医学・臨床検査医学 | |

8月19日 困

9:30～10:30 **教育講演1**

司会：小林 茂樹（藤田医科大学 医療科学部 放射線学科）
大槻 真嗣（藤田医科大学 医学部 臨床総合医学）

PBL のススメ —入門編と応用編—

1) PBL のススメ

大槻 真嗣（藤田医科大学 医学部 臨床総合医学）

2) 放射線技術学教育における問題解決型学習（problem based learning）の実践

小林 茂樹（藤田医科大学 医療科学部 放射線学科）

10:45～11:45 **教育講演2**

司会：石黒 啓司（岐阜医療科学大学）

人工知能の基礎と臨床検査学領域への応用

寺本 篤司（藤田医科大学 医療科学部 放射線学科）

12:00～13:00 **ランチョンセミナー**

協賛：株式会社 日立ハイテク

司会：齋藤 邦明（藤田医科大学 医療科学部長 産学連携推進センター長）

次世代臨床検査システムの構築 ～人とロボット・AIの共生～

伊藤 弘康（藤田医科大学 医学部 臨床検査科）

13:30～14:30 **特別講演3**

司会：秋山 秀彦（藤田医科大学）

臨床検査技師の未来のために

安田 守（京都府 向日市 市長）

14:45～17:00 教員・学生合同研修会

司会：小野川 傑(埼玉医科大学)
市野 直浩(藤田医科大学)

臨地実習前の技能習得達成度評価の取り組みについて
(実施に向けての問題点・改善点)

1) 客観的臨床能力試験(OSCE)に向けた技能到達度評価の試みと
その効果と課題について

水上 紀美江(湘央医学技術専門学校)

2) 熊本保健科学大学のプレ OSCE への取り組みについて

永田 和美(熊本保健科学大学)

3) 藤田医科大学における客観的臨床能力試験の取組み
愛知県臨床検査技師会との連携

今村 誠司(藤田医科大学)

4) 外部評価の試み
愛知県臨床検査技師会との連携による OSCE の構築

岡田 元(公益社団法人 愛知県臨床検査技師会 副会長・
JA 愛知厚生連 安城更生病院 臨床検査室 室長)

17:15～17:30 クロージング・トーク

司会：坂本 秀生(日本臨床検査学教育協議会 理事長)

多様化する臨床検査技師教育 ―現在と今後―

大会長 秋山 秀彦(藤田医科大学)

17:40～18:00 閉会式

理事長 閉会の挨拶

次期大会長挨拶

副大会長 茅野 秀一(埼玉医科大学)

一般演題(教員セッション)**セッション1(教育)**

- 教01** 本学におけるオンライン授業に関するアンケート結果と活用事例
小笠原 篤 静岡医療科学専門学校 医学検査学科
- 教02** 2020年度オンライン授業に関する学生アンケートの報告
吉田 保子 つくば国際大学 医療保健学部
- 教03** 学生の進路にもたらしたコロナ禍の影響
本間 達 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科
- 教04** 新型コロナウイルス感染症流行下における本学学生のこころとからだの変化に関する調査
越戸 香琳 静岡医療科学専門学校

セッション2(教育)

- 教05** コロナ禍におけるオンライン授業と対面授業の比較検討
水上 紀美江 湘中央医学技術専門学校
- 教06** 香川県立保健医療大学における臨床生理学実習の
新型コロナウイルス感染対策について
大栗 聖由 香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 教07** コロナ禍における尿沈渣実習の本学での対応
森田 那奈架 藤田医科大学 保健学研究科 医療科学専攻
- 教08** 遠隔授業での利用を目指したバーチャル顕微鏡教材の作成
—一般臨床検査学バーチャル顕微鏡教材 - 尿沈渣 - の作成—
岡田 茂治 埼玉県立大学 健康開発学科 検査科学技術専攻

セッション3(教育)

- 教09** 臨床検査技師養成課程における寄生虫学教育の現状分析
関根 将 森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 教10** 酵素標識抗体を用いた抗核抗体スクリーニングの教育
ならびに臨床応用へ向けた陰性像の改善の試み
小野川 傑 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 教11** Bernard-Soulier 症候群様疑似検体を用いた血小板凝集能検査実習の試み
登尾 一平 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科
- 教12** 医用工学実習に対する学習意欲向上のためのLPSpiceを用いた
回路シミュレーション実習と電気素子を用いた実習の比較検討
花尾 麻美 東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科
- 教13** 臨地実習に参加する学生を対象とした唾液からの
SARS-CoV-2 検出系の構築とその運用状況について
山口 博之 北海道大学 保健科学研究院

セッション4(教育)

- 教14** 新型コロナ禍の血液学実習における
細胞鑑別 e-learning ソフト(Web PRO)の使用経験
松尾 英将 京都大学 医学部 人間健康科学科 総合医療科学コース
- 教15** 専門科目「血液検査学」におけるアクティブ・ラーニング導入の試み
鈴木 真紀子 四日市看護医療大学 看護医療学部 臨床検査学科
- 教16** 学生ワークシートの導入による実技能力修得の効率化
會田 雄一 筑波大学 医学医療系
- 教17** 臨床検査技師養成課程の初年次教育科目に「チーム医療」の実践を見越して
“チームビルディング”の手法を導入することの意義
三浦 真希子 神戸常盤大学
- 教18** 携帯電話を用いた国家試験対策支援ソフトの開発
南部 雅美 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科

セッション5(教育)

- 教19** 「将来の臨床検査技師像を見据えたアンケート」調査から考える
臨床検査技師教育
山口 孝一 国際医療福祉大学 成田医療保健学部 医学検査学科
- 教20** 熊本保健科学大学における
「品質保証・精度管理学共同研究講座」の設置について
蛭田 修 熊本保健科学大学 品質保証・精度管理学共同研究講座
- 教21** 熊本保健科学大学における
品質保証・精度管理学教育に関する大学院カリキュラムについて
松原 朱實 熊本保健科学大学 品質保証・精度管理学共同研究講座
- 教22** 3Dモデルを利用したポストゲノム時代の生物学講義
佐川 輝高 愛媛県立医療技術大学 保健科学部 臨床検査学科 基礎検査講座
- 教23** サイエンスボランティアとしての試み
永井 慎 岐阜医療科学大学 保健科学部 臨床検査学科

セッション6(教育)

- 教24** 医療系私立大学における「カラーユニバーサルデザイン(CUD)」の
構築に向けて その1 ～教職員のアンケート結果分析～
山鹿 敏臣 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科
- 教25** 医療系私立大学における「カラーユニバーサルデザイン(CUD)」の
構築に向けて その2 ～学生のアンケート結果分析～
松本 珠美 熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科
- 教26** 臨床検査学科におけるキャリア支援の取り組み
—特に面接対策講座について—
飯野 望 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 教27** 超音波検査における卒後教育について
中村 泰子 高知学園大学 健康科学部 臨床検査学科
- 教28** 在宅医療との連携
井越 尚子 女子栄養大学 栄養学部 保健栄養学科

一般演題(学部セッション)**セッション7(学部)**

- 学01** 超音波エラストグラフィと筋硬度計による肩こりの評価
小河 佳織 香川県立保健医療大学
- 学02** 腹部超音波検査における食事が胆嚢収縮におよぼす影響について
菅沼 早礼 岐阜医療科学大学 保健科学部 臨床検査学科
- 学03** 筋萎縮性側索硬化症における上肢神経の CMAP 振幅比による有用性
安浪 輝芳 天理医療大学 医療学部 臨床検査学科
- 学04** COVID-19における嗅覚障害の残存と属性との関連
坂詰 節子 東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 検査技術学専攻
- 学05** カプノメータを用いた一次微分波形分析法による換気不均等分布の評価
新 聡美 天理医療大学 医療学部 臨床検査学科

セッション8(学部)

- 学06** 初速度ビウレット法による血清総蛋白測定の検討
小島 みなみ 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻
- 学07** 市販 BCG 法試薬のアルブミンに対する特異性
—ヒトアルブミンを標準物質としたときの改良 BCP 法との比較—
中野 日菜子 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻
- 学08** 生化学検査の定量測定における許容誤差幅の検討
椎名 紗弓 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科
- 学09** 冷蔵保存による LD 活性の低下とアイソザイムとの関係
神永 瞳 埼玉県立大学 保険医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻
- 学10** 電気泳動法における酵素のアイソザイム検査の問題点
—アイソザイムによって Km が大きく異なる LD を例に—
楠美 理沙 埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 検査技術科学専攻
- 学11** 新しい PAM デンプン反応を利用した用途開発
新田 菜々子 川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床検査学科

セッション9(学部)

- 学12** 肝再生における骨髄由来抑制細胞(MDSC)の出現
杉山 琴美 北里大学 医療衛生学部 医療検査学科 免疫学
- 学13** マウス脾臓特異的リンパ球の解析
本間 咲芳里 北里大学 医療衛生学部 医療検査学科 免疫学
- 学14** 混合アロ臍帯血移植による致死量放射線曝露個体の自己造血機能回復に関わる機序解明
阿部 希春 弘前大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻
- 学15** 肺腺癌細胞における形質膜シアリダーゼの活性阻害による癌悪性形質への影響
梶田 楓花 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 学16** 肺腺癌細胞における形質膜シアリダーゼ NEU3と EGFR の関係性とその役割
坂田 楓果 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 学17** 大腸癌培養細胞における PPAR- α 活性化による増殖抑制のメカニズム解析
北林 由衣 香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科

セッション10(学部)

- 学18** *Acinetobacter baumannii* における抗菌薬サーベイランス
森 拓也 文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科
- 学19** プレート法(TCP法)による Biofilm 形性能測定法の検討
小林 大幹 文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科
- 学20** MRSA 株の POT 法、生化学性状、形態的特徴の相同性について
佐藤 歩花 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科
- 学21** 兵庫県下における *Neisseria gonorrhoeae* のキノロン系抗菌薬に対する薬剤感受性および遺伝子変異の調査
小谷 琴古 神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科
- 学22** カピバラにおける食糞行動に対する微生物学的研究
松井 千遥 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科

セッション11(学部)

- 学23 インドネシアにおける食肉から分離された薬剤耐性 *Salmonella enterica* の遺伝子解析
西 澄美香 神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科
- 学24 *Listeria monocytogenes* ATCC BAA-679 (EGDe) 株を用いた鞭毛染色の試みと重要性
中屋 祐子 女子栄養大学 栄養学部 保健栄養学科
- 学25 化粧品の安全性についての微生物学的及び分析化学的アセスメント
森 遥華 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 学26 吸入デバイスに増殖しうる微生物叢の網羅的同定
三友 彩音 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 学27 酒精酵母由来 MDH とその関連酵素におけるリンゴ酸生成量の株特異性に関わる分子メカニズムの探求
村松 空 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科

セッション12(学部)

- 学28 セマフォリン受容体 NRP2 アイソフォームの機能解析
原 翔一 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻
- 学29 I型糖尿病マウスにおけるオートファジー誘導剤による糖尿病性腎症の改善
末永 梢 麻布大学 生命・環境科学部
- 学30 MAGE-D1 遺伝子欠損マウスに認められるうつ様行動はノルアドレナリントランスポーターのリン酸化低下を伴う
毛利 彰宏 藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科 レギュラトリーサイエンス
- 学31 白質の生後発達におけるミクログリア多様性の検討
佐藤 夢花 新潟大学 医学部 保健学科
- 学32 オートファジー阻害剤クロロキンによる四塩化炭素誘発肝細胞傷害の抑制
城内 美里 麻布大学 生命・環境科学部 病理学研究室

セッション13(学部)

- 学33** 白血球細胞集団における新分布指標の提案
宮内 美瑠 国際医療福祉大学 成田保健医療福祉学部 医学検査学科
- 学34** *In vitro* での微細な結晶形成へ与える
尿路結石症患者尿中 Tamm-Horsfall protein の影響
塩塚 萌水 文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科
- 学35** *In vitro* での尿路結石患者尿中の微細な結晶形成と尿中蛋白の関与
津吹 沙織 文京学院大学 保険医療技術学部 臨床検査学科
- 学36** 性(月経)周期と尿成分との関係～尿中化学成分と性(月経)周期～
佐藤 希咲 文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科
- 学37** 性(月経)周期による尿沈渣成分の変化
小林 あいり 文京学院大学 保険医療技術学部 臨床検査学科

セッション14(学部)

- 学38** 骨髄赤芽球における上皮性マーカー E-cadherin と
メカノトランスダクション蛋白質 PIEZO1 の共発現
田中 歩実 埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科
- 学39** 白血病マーカー遺伝子の MALDI-TOF/MS による新規検出法の開発
小林 優香 帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科
- 学40** 血中マイクロ RNA を標的とした新規アルツハイマー型認知症検査法の開発
林 咲良 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻
- 学41** 癌抑制因子 FIR は肝臓癌細胞株の細胞増殖に関与する
橋本 真由子 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科
- 学42** BDNF 発現制御マイクロ RNA の同定と解析
香川 綾夏 広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科 臨床検査学専攻

一般演題(大学院セッション)

セッション15(大学院)

- 院01 一次診療動物病院の愛玩動物由来 *Pseudomonas aeruginosa* の薬剤耐性と T3SS virulotypes : high-risk clone ST235 の検出
瀧澤 志野 信州大学大学院 医学系研究科
- 院02 病棟洗浄用シンク由来 *Acinetobacter pittii* ST220 と 同一病棟の入院患者由来 *A. lwoffii* が保有する *bla*_{NDM-1} プラスミドの比較解析
坂口 かなえ 信州大学大学院 医学系研究科
- 院03 侵襲性ペニシリン低感受性 B 群レンサ球菌の全ゲノム解析
吉田 諭史 信州大学大学院 医学系研究科
- 院04 Non-*Helicobacter pylori* *Helicobacter* 感染がみられた、胃切除症例 1 例の病理組織学的検討
鈴木 洋晴 信州大学大学院 医学系研究科 保健学専攻
- 院05 *Neisseria gonorrhoeae* における *mtrR* 変異による薬剤感受性への影響の検討
遠藤 優太 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科

セッション16(大学院)

- 院06 *Neisseria gonorrhoeae* における β -ラクタム系抗菌薬感受性と耐性遺伝子の関連性の解析
丸山 元輝 文京学院大学大学院 保健医療科学研究科
- 院07 臨床分離されたステルス型 CPE のメロペネム曝露によるカルバペネマーゼ産生量の変化
北條 隆祐 北里大学大学院 医療系研究科 環境微生物学
- 院08 水環境における *Aeromonas* 属を介した *bla*_{IMP-1} の水平伝達の解析
新井田 凧 北里大学大学院 医療系研究科 医科学専攻
- 院09 病院排水内における薬剤耐性 *Aeromonas* 属の存在実態
新井田 凧 北里大学大学院 医療系研究科 医科学専攻
- 院10 生合成経路関連遺伝子に着目した緑膿菌の Caco-2 細胞層透過機構の解析
七條 唯人 香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 臨床検査学専攻

セッション17(大学院)

- 院11** 植物由来成分アンドログラフィロドの抗腫瘍効果には活性酸素が関与する
高木 利於 藤田医科大学 大学院保健学研究科
- 院12** 子宮体部類内膜癌における DNA 複製タンパクの免疫組織化学的解析
および工学的解析
浦田 巧 信州大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 検査技術科学分野 病因・病態検査学領域
- 院13** 疾患特異的マスト細胞を用いた神経線維腫瘍増殖メカニズムの解明
有富 理那 山口大学大学院 医学系研究科 生体情報検査学領域
- 院14** 神経線維腫症 I 型における *NFI*^{+/-} マスト細胞の腫瘍増殖への影響
鮫島 亜梨沙 山口大学大学院 医学系研究科 生体情報検査学領域

セッション18(大学院)

- 院15** 遺伝子編集技術 CRISPR/Cas9 を用いたトラスツズマブ耐性乳癌細胞株の
作製と解析
松木 依理奈 広島国際大学 医療・福祉科学研究科 医療工学専攻
- 院16** 日本人フィラデルフィア染色体陰性骨髄増殖性腫瘍患者における遺伝子多型解析
柳瀬 匠汰 山口大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 病態検査学講座
- 院17** 尿路上皮癌細胞を用いた SurePath 法と ThinPrep 法の細胞形態の定量的な比較
— 標本作製法の違いはパリシステムの診断基準に影響するか —
奥田 千尋 神戸大学大学院 保健学研究科
- 院18** オレイン酸が大腸癌に及ぼす影響の基礎的検討
川上 竣誠 香川県立保健医療大学大学院 保健医療学研究科 臨床検査学専攻

セッション19(大学院)

- 院19** 抗リン脂質抗体の血栓形成作用を増幅させる炎症メディエーターの探索
瀬分 望月 山口大学大学院 医学系研究科 生体情報検査学
- 院20** 黒酢の SOD 様活性測定法と DPPH ラジカル消去活性測定法による
抗酸化物質の解析
岡田 明也 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究科
- 院21** 自己免疫性甲状腺疾患における末梢血中濾胞性ヘルパー T 細胞のフローサイト
メトリーによる解析
高田 紗季 大阪大学 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座
- 院22** NKT 細胞依存性肝炎の
骨髄由来抑制細胞 (Myeloid derived suppressor cells : MDSC) の役割
新井 まやの 北里大学大学院 医療系研究科 臨床免疫学
- 院23** 糸球体腎炎における尿細管上皮細胞の p53 発現
榎本 圭織 神戸大学大学院 保健学研究科

セッション20(大学院)

- 院24** HEK-293 由来細胞外分泌小胞の軟骨様細胞 OUMS-27 への取り込みへの検討
高下 蓮 岡山大学 医学部 保健学研究科 検査技術学専攻
- 院25** 尿細管間質性腎炎における PHD 阻害薬の腎保護効果について
古川 明音 神戸大学大学院 保健学領域
- 院26** トリプトファン代謝酵素 Indoleamine 2,3-dioxygenase 2 欠失による
乾癬病態増悪のメカニズム解明
酒井 里佳 藤田医科大学大学院 保健学研究科 病態制御解析学分野
- 院27** IL17A 遺伝子のメチル化率の変化が自己免疫性甲状腺疾患の
病因病態に及ぼす影響
竹野 友梨 大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座
- 院28** アレルギー性鼻炎発症における熱ショックタンパク質の関与
中谷 柊斗 岡山理科大学大学院 理学研究科

セッション21(大学院)

- 院29** 動脈硬化の発症初期診断に関する検討
—プラーク形成に関連する因子について—
藤田 優 藤田医科大学大学院 保健学研究科
- 院30** 急性心不全患者における血漿 D-dimer 測定の有用性の検討
鈴木 杏実 藤田医科大学大学院 保健学研究科
- 院31** 黒酢に含まれるアンジオテンシン I 変換酵素阻害ペプチドの解析
関 穂乃花 埼玉県立大学大学院 保健医療福祉学研究所
- 院32** 心筋細胞の肥大形成における Herpud1 遺伝子の役割
三河 芽生 山口大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 生体情報検査学領域
- 院33** 非アルコール性脂肪性肝疾患に対する肝硬度および超音波減衰係数の有用性
近藤 百華 藤田医科大学大学院 保健学部 保健学研究科

セッション22(大学院)

- 院34** 高食塩負荷による高血圧および情動・認知機能障害における
PGE2/EP1 シグナルの関与
窪田 悠力 藤田医科大学 大学院保健学研究科 レギュラトリーサイエンス
- 院35** 統合失調症新規治療薬開発を目指した
Kynurenine aminotransferase 2 阻害剤の活性評価
安藤 穂乃実 藤田医科大学大学院 保健学研究科 病態制御解析学分野
- 院36** 熱ショックタンパク質発現誘導剤のうつ病治療薬としての可能性の検討
足立 陸 岡山理科大学大学院 理学研究科
- 院37** 脳をターゲットとした抗体薬投与のための高分子物質脳内移行の解析
野田 拓弥 岡山理科大学大学院 理学研究科

セッション23(大学院)

- 院38** 慢性疲労症候群の鑑別診断に有用なバイオマーカーの確立
中本 碧 山口大学大学院 医学系研究科 生体情報検査学
- 院39** 固相化リポソーム結合ゲルビーズを用いたリン脂質引き抜き能評価法の確立
渋谷 茉璃乃 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 先端分析検査学分野
- 院40** 小腸上皮に存在する杯細胞の三次元微細構造を明らかにする
色反転 PAS 反応画像を用いた新しい光 ー電子相関顕微鏡法の技術開発
岡崎 将門2) 藤田医科大学大学院 保健学研究科 形態細胞機能解析学分野
- 院41** 新型コロナウイルス感染症における SARS-CoV-2 抗体検査キットの精度評価
川村 初美 中部大学 生命健康科学研究科 生命医科学専攻
- 院42** 抗トロンボモジュリン抗体測定 ELISA の開発
三島 健太郎 山口大学大学院 医学系研究科 生体情報検査学

特別講演 1

医師の業務のタスクシフトと 臨床検査技師

司会：坂本 秀生（日本臨床検査学教育協議会 理事長、
神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科）

演者：宮島 喜文（一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長）

Web 会場

8月18日（水） 13:30～14:30

特別講演 1

医師の業務のタスクシフトと臨床検査技師

宮島 喜文

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会 代表理事会長

令和3年6月21日(金)、参議院本会議において、「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が賛成多数で可決成立した。この法律は東ね法案と称されるもので、長時間労働の医師の労働時間短縮と健康確保のための措置の整備等や医療関係職種の仕事範囲の見直し、医師養成課程の見直し、医療提供体制に係わるもので複数の法案が含まれていた。

このことより、平成28年6月に閣議決定した「ニッポン一億総活躍プラン」の中で提示された「働き方改革」から始まった罰則付き時間外労働の上限規制の導入に対して、医師の時間外上限規制を推進する為の法整備がされたことになる。

この法案の中で、医療関係職種に関する法改正では、臨床検査技師の仕事範囲の見直しも含まれており、医師の働き方の上限規制が適用される2024年4月に向けて、令和元年10月から、厚生労働省において「医師の働き方改革を進めるためのタスクシフト・シェアの推進に関する検討会」で具体的な検討され、結論の整理がなされた内容が医療関係職種の資格法の改正内容とされた。

改正の趣旨は、医療関係職に対してタスクシフト行為の推進であり、医師の独占業務である医行為や看護師などが行える診療の補助に該当する行為など現行では実施できないものを他の医療関係職種でも実施可能にすることが必要であるとして、臨床検査技師等に関する法律など資格法の改正に至ったものである。

職能団体である日本臨床衛生検査技師会としては、以前から取り組んでいた「業務範囲の拡大」の一環であり、一度に10行為が業務拡大できたことは大きな成果であると考えている。

この10行為には、静脈採血に伴う静脈路の確保や直腸肛門機能検査でのバルーン挿入や空気の注入、持続自己血糖測定器の取り付けのための穿刺、経鼻又は気管カニューレからの喀痰の吸引など、従来の体内か

ら排出、採取の検体検査に加え、穿刺・抜針、吸引・注入・接続など、検体採取や生理学的検査に関連する業務が増えていることが特徴である。

更に、以前から“グレーゾーン”と考えられていた18行為についても、厚生労働省は現行制度の下で実施可能な業務とし、タスクシフト/シェアを最大限に推進できるように具体的な方策を示し、通知するとされている。

また、今後、このタスクシフト/シェアの普及・推進するには、意識と技術と余力が必要であるとし、昨年度から管理者へのマネジメント研修なども実施しており、臨床検査技師に対しては、タスクシフト・シェア等医療環境改善推進のための啓発講習会が開催されている。

そして、現在、本年10月の改正法の施行に向けて、既資格者を対象にした新たに追加となる業務に関する厚生労働省の指定講習会が開始されるとともに、次年度から臨床検査技師の養成課程においても法改正に基づく教育が始めることになっている。

今回のタスクシフト/シェアの推進に関しての経緯から様々な課題や問題点が明確となってきた。これらの経験を踏まえ、私達は次を目指して進まなければならない。今後の診療現場における臨床検査技師の役割とは何か、再認識するとともに、ポストコロナ後、第4次産業革命と向き合う臨床検査技師像について考えてみたい。

一般演題

(教育セッション)

教01 本学におけるオンライン授業に関するアンケート結果と活用事例

○小笠原 篤(おがさわら あつし)、山口 浩司、佐口 舞、永田 美智、尾形 隆夫、畑本 大介

静岡医療科学専門学校 医学検査学科

【はじめに】静岡医療科学専門学校医学検査学科(以下:本学)では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、緊急事態宣言期間中に Zoom Video Communications(以下:Zoom)を用いてオンライン授業を行った。この時の経験を今後を生かしていくために、学生へのアンケート調査を実施した。今回はその結果と、本学での活用事例について報告する。

【対象】本学医学検査学科の学生104名(1年生:44名、2年生:29名、3年生:31名)

【方法】Zoomを用いて2020年5月7日~5月22日の間、全講義をオンラインで行なった。学年毎のオンライン授業に関する満足度、教科毎(1年生:15講義、2年生:9講義、3年生:5講義)の理解度をアンケート調査した(静岡県の緊急事態宣言期間:4/16~5/14)。

血液検査学実習において Zoom と Nikon DS-L3を用いて、遠隔地での細胞形態の観察を行なった。

【結果】オンライン授業の満足度としては、不満足という回答は認められなかった。満足及びやや満足と回答した割合

は全体の62%であり、比較的高い結果であった。オンライン授業の理解度としては、対面授業時と変わらないと回答した割合は全体の41%であった。オンライン授業の方が良い及びややオンライン授業の方が良いと回答した割合は全体の22%であった。Zoomを活用することにより、遠隔地においても鏡検像を確認できることが明らかになった。

【考察】オンライン授業に関する満足度が高かった理由として、新型コロナウイルスへの感染リスクが軽減できたこと、通学時間が無くなったこと、スライドが見やすいこと(座席による差がないこと)、などの理由が考えられる。今回のアンケート調査では、対面授業とオンライン授業での授業形態の変化による純粋な満足度や理解度とは言いがたく、個人面(滑舌、声量、など)や、環境面(通信環境、ヘッドセットの有無、など)、オンライン対応期間の長さなども結果に影響したと考えられる。

【結語】今回のオンラインでの授業形態は、これからの授業の在り方を考えさせられる貴重な経験であった。

教02 2020年度オンライン授業に関する学生アンケートの報告

○吉田 保子(よしだ やすこ)、山本 哲也、鈴木 康文、當銘 良也

つくば国際大学 医療保健学部

【はじめに】2020年度はCOVID-19の影響によりオンラインによる授業が余儀なくされ、本学においても6月よりオンライン授業を開始した。

【目的】オンライン授業の開始から1年を経て、その課題を明らかにするとともに、臨床検査技師養成課程におけるよりよいオンライン授業に向けた示唆を得ることである。

【方法】2020年度に本学臨床検査学科にてオンライン授業を受講し調査に同意した、2020年度1、2、3年生を対象に、ITスキルの獲得状況、健康状態、オンライン授業への意識等を Google Forms を使用して、無記名により調査した。なお、本研究はつくば国際大学倫理委員会にて承認された。

【結果】調査の回収率は56.9%であった。ITスキル(Webの閲覧や文字入力等)は約9割がオンライン授業以前から持っていたが、ビデオ会議システムの使用スキルは4割以上の学生がオンライン授業後に得たと答えた。また、オンライン授業の難点には、4割を超える学生が通信環境を挙げ、反対に利点では「大学への移動がなくなったこと」(9割)、「時間的制約がなくなったこと」(6割)、「自分

のペースで学習できる」(4割)等を挙げた。さらにオンライン授業が対面授業を代替できていると思う学生は40%弱おり、また7割弱の学生が今後も一部の授業をオンライン形式で行って欲しいと答えた。一方で、オンライン授業の影響については、他の学生とのコミュニケーションを「全くとらなかつた」と答えた学生が約14%、孤独感や孤立感を感じた学生が4割弱いた。

【考察】オンライン授業は、学生に、ITスキルの向上、時間的な制約からの開放、学習時間の増大等をもたらし、比較的多くの学生が今後もオンライン授業を望む等、対面授業の代替を果たせたと考えられる。一方で、医療従事者に必要なコミュニケーションについては、十分に補えたとはいえず、自由記述ではオンライン授業による実習の限界も指摘され、臨床検査技師養成課程における対面授業の必要性が実感された。

第15回日本臨床検査学教育学会学術大会抄録集

令和3年8月1日発行

編集責任者：大 会 長 秋山 秀彦
実行委員長 市野 直浩
学術・企画 杉本 恵子 毛利 彰宏
総務・会計 塩竈 和也 松浦 秀哲
設営・運営 厚味 高広

事 務 局：藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科・臨床検査学科内
第15回日本臨床検査学教育学会学術大会 事務局
〒470-1192 愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1番地98
TEL：0562-93-9050
E-mail：jamte15@fujita-hu.ac.jp

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>